

## 目標達成計画

事業所名 グループホームえみな ゆうまいの家

作成日: 令和 5 年 3 月 31 日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有方法として事業所の玄関とフロアの掲示と、月1回開催される職員会議にて唱和し、理念の共有が実践につながるようになっているが、職員一人一人が理念を実践できているかの確認をしていく必要がある。	職員が日々のケアの中で理念に基づいたケアをしていけるようになる。	掲示や唱和での理念の共有だけではなく、3ヶ月に1回の頻度で職員会議の中で理念の実践状況についての振り返りを行う。	1年
2	11	職員からのアイデアや提案に対して、実際に進めることができていない事ができておらず、職員一人ひとりの考えを聞く機会を増やしていくことが課題。	定期的に職員面談を行い、職員の意見や提案を運営に活かしていく。	年1回以上の職員面談を行うことで、職員の意見や提案を引き出すよう努め、職員個人の目標も立てることでケアの質を高めていく。	1年
3	35	備蓄の管理が不十分であり、期限等があり消耗していく備品の補充がきちんできていない。	定期的に備蓄類を確認し、十分な量の確保・補充を行っていく。	年2回の災害訓練に併せて、備蓄類の確認・補充を行う。	1年
4	35	災害計画及びBCPは作成しているが、感染症対策のBCPは作成中である。また、職員へのBCPの内容の周知がきちんできていない。	感染症対策のBCPを作成するとともに、職員に対して災害・感染症BCPの内容の周知を行っていく。	感染症対策のBCPは作成中。BCPの周知については災害訓練前の職員会議にて読み合わせを行うなど内容の把握に努める。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。

